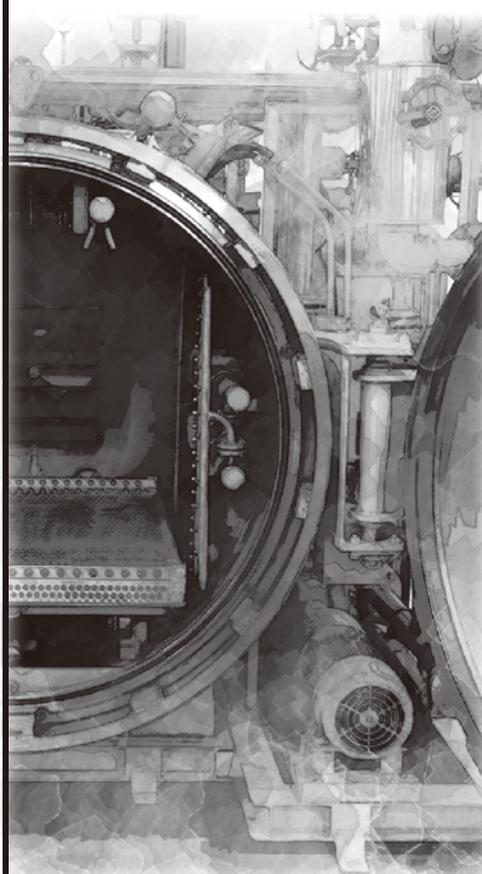


2 2020 目次



四季想「終南望余雪」……………	1
ニーズの変化をとらえその価値を タイムリーに提供する —令和2年缶詰業界新年賀詞交換会— ……………	2
第68回技術大会の概要 ……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会	6
第68回技術大会は昨年11月14日、15日に山形市の山形国際ホテルで開催された。本稿では、大会で発表された17編の研究内容について、①加熱殺菌技術関連、②容器関連、③微生物関連、④品質関連の4分野に分けて紹介する。	
第68回技術大会特別講演 米国の食のトレンドと法規制について I ……………吉田隆夫	11
第68回技術大会の特別講演の内容を2回に分けて紹介する。1回目は、アメリカの食品産業の現状について、①生産、農業、輸出と傾向、②現在のアメリカ食品のトレンド、に関する講演内容を紹介する。	
ニュースファイル (2019年12月)……………	21
✽放射路 食品・流通……………	29
缶詰見聞・体感録 第106号 銀座探訪 ……………黒川勇人	31
ニュース&トピックス……………	41
続・琴川渉捕物控 第21回 レトルト食品、宇宙に行く ……………宇佐美昇三	48
さまざまな挿話を提供して、読者に新商品の開発や、難交渉の解決、話題づくりのヒントにさせていただくということを狙いとする読み物。缶詰、びん詰、レトルト食品を念頭に捕物控から拾い出して紹介するが、連想のままずれてゆくことがあってもご愛敬ということで。	

缶詰、びん詰、レトルト食品生産数量 (2019年1～9月期1次集計分速報) ……………	50
---	----

2019年1～9月期の缶びん詰生産は148万トン(23,116万箱・実箱)で、前年対比99.3%となっている。内訳は、丸缶144万トン、22,383万箱(飲料を除いた丸缶では13.1万トン、1,730万箱)、大缶1.5万トン、83万箱、びん詰3.0万トン、650万箱となっている。レトルト食品の生産は、23.6万トン(3,614万箱)で前年対比99.2%となっている。

レトルト食品の生産個数変化 ……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会	74
---------------------------------------	----

缶詰、びん詰、レトルト食品全国販売データ 2019年12月品目別商品別金額シェア ……………	82
--	----

★2020年度缶詰時報年間予約購読申し込みについて ……………	47
------------------------------------	----

缶詰短信……………24	海外ジャーナル……………45
缶詰輸入情報……………34	日本介護食品協議会コーナー…92
缶詰輸出情報……………36	研究所だより……………93
缶詰関連統計情報……………38	協会日誌……………94
魚肉ソーセージコーナー……………40	編集後記……………96
業界消息……………44	

今月号の「企業最前線～経営者に聞く～」は休載となります。

表紙カット (株)日本出版制作センター
レイアウト 澄田 静